

市民憲章推進協議会の活動を紹介

小学校訪問『市民憲章』啓発活動終わる

市民憲章40周年記念行事を平成21年に終え、記念のためにと作成したDVDを活用して、平成22年度は『子どもたちへの啓蒙の年』にしようとして、4月若草小学校を皮切りに活動を開始し、平成23年1月末の幌別西小学校を最後に市内全小学校の訪問を終了しました。

対象学年は学校により異なりますが、3～5年生で『市民憲章』という抽象的な内容をどのようにして理解させるか、その方法に苦慮しました。

目的は、自分たちの生活している登別をいかにして知らしめるかということであり、そのために自分たちの現在住んでいる街の歴史、学校の歴史を知らせることにし、できる限りの資料を用意して児童に説明してみました。

学校側では、年間カリキュラムの中に時間を確保することは大変であったと思いますが、各学校とも快く受け入れてくださり、事前指導が大変良かったようで児童は素直に受け入れ、実施してみて大変良かったと思えました。

特に、二校からは、受講児童に感想文を書かせて協議会に提供してくれたことは、これからの活動の参考になり、大変感謝しています。

中でも市内の花壇を管理する人たちが、『寒い冬の頃から種をまき、発芽すれば移植し、更に大きくなればまた移植する』という、花苗が成長するまで育てる人たちの苦労があり、やがて市内の至るところにきれいな花壇となって現れることの説明を児童たちは大変勉強になったと表現しています。

また、登別の街に緑がいっぱいあり、平和で文化の香り高いまちであることも理解できたと書いてあったことは大変うれしく思いました。

来年度以降も各学校を訪問して、将来に少しでも夢を抱かせることのできる啓蒙をしていきたいと考えております。

市民憲章推進協議会 啓発部



市民憲章研修報告

市民憲章推進協議会の年間事業の一つである先進地視察が、去る11月18日、前田会長ほか理事・事務局12人の参加で実施されました。

視察先は千歳市民憲章推進協議会であり、当日は8時30分に市役所前を出発、10時に千歳市役所に到着、早速大古瀬会長・事務局員2人に対応いただき活発な意見交換が行われました。

千歳市民憲章推進協議会は平成21年に憲章制定30周年を迎えたとのことで、歴史は当市より若干浅いですが、組織・事業内容・事務局体制ともにさまざまな違いがありました。

組織体制では、市内の54各種団体・市内148町内会・自治会等の合計202団体で構成されていたとのことでした。



事業内容については、憲章作文コンテスト、新入学児童への啓蒙活動として憲章文印刷のクリアホルダー、市のシンボル（木、花、鳥、魚）印刷のステッカーの配布、憲章像清掃事業などでありました。

その活動財源は全額市の補助金で賄われ平成22年度の場合は85万8,000円でした。

事務局体制ですが、事務局を市役所市民生活課内に置き、庶務・会計全ての事務を行政の支援によって行っているとのことでした。

『金は行政、口と行動は推進協』をモットーに行政と民間が一体となって憲章の啓蒙に努めているとのことでした。

大古瀬会長は発足当初から関わっており、『市民憲章のあり方も時代と共に変わるものとの原点に立ち返り、今こそ憲章の精神を市民生活に生かす活動を推進すべきである』との一言に勇気付けられ帰途につきました。

市民憲章推進協議会 総務部

